



百笑一姫の Fukuがある ネットワーク のロゴマーク

ふくしま農業女子ネットワーク 農女ぴより



遊休農地を整備し、花を植えて見る人の目を楽しませている小平さんのガーデン

◆ふくしま農業女子ネットワーク（愛称：百笑一姫♡Fukuがある）農業女子同士の交流・連携を深め、技術の向上を図ろうと、県内の女性就農者や就農希望者65人で構成。福島民報社をはじめ、県内の30企業・団体が「応援団」として登録している。農産品を使っ
た加工品の共同開発や情報発信、経営力向上、販路拡大などに連携して取り組む。メンバー、応援団となる企業・団体を随時募集している。URLは<https://www.fuku-girl.jp/> 問い合わせは事務局 県農業担い手課 電話024(521)7340へ。



小平 美香さん(古殿町)

花とキノコの名所に

花き栽培を始めて7年目になりま
す。キクやアスター、カサブランカ
などを栽培し、切り花にして出荷し
ています。花の栽培という仕事から
私は、いろいろなことを教わりまし
た。

基本は「一人農業」なので、普段
は気楽ですが、繁忙期ともなると10
人程度で作業をし、フレッシュヤーが
重くのしかかります。夜も眠れず夜
中の1時ごろから一人で花束作りを
始める時も多々あります。こんな時
はやはり、花が癒やしてくれます。
花栽培と共に趣味として遊休農地に
バラや宿根草を植えて「ガーデン」
を整備したり、杉山を間伐し倒木や
枝を片付けて四季折々の山野草や花

木を植え込んだりしてきました。そ
の景色を眺めていると心が落ち着い
てきます。

花は、うれしい時にも悲しい時に
も使われるように、人を癒やすこと
ができる素晴らしいものです。毎年
少しずつですが、山の整地と片付け、
山野草の定植を進めていき、通り掛
かる人に幸せな気持ちになってもら
えるような景観作りを目指していま
す。

さらに、その山の奥には日差し
入らない場所があります。そこには
知人から譲り受けたシイタケとナメ
コのホタテ木を並べ、昨年からキノ
コ栽培も始めました。原発事故後の
出荷制限により、原木シイタケの生

産者が次々とやめていく中、安全な
原木を百年先までつなげたいとい
う知人の思いに心打たれました。ちょ
うど花き栽培が終わる10月から翌年
1月ごろと、春先の3月から6月ご
ろが収穫時期です。自然の状態であ
るから出てくる姿を見ながら収穫を
楽しんでいきたいです。

花とキノコが楽しめる、古殿町の
新しい観光名所を目指し、日々まい
進していきます。

◆プロフィール◆ 6年前に就農し、切
り花用のキク、アスター、オリエンタ
ルユリ約20種を栽培。自宅や直売所で
販売している。古殿町農地最適化推進
委員に任命され、遊休農地解消や新規
就農者の呼び掛けなどにも取り組ん
でいる。